理事会報告書

１．概要

	第９回　理事会
日　時	令和５年 １月 13 日　18:30～20:30
場　所	Web 会議
出席者	理事大山盛樹、井手伸二、山下潤一郎、小泉徹児、小無田彰仁、重松康志、永木照彦、 浦川純二、志岐浩二、大石勝規、小柳　傑、飯野朋彦、笹原順哉、池田章子 監事平野英三、柿田謙三、大木田治夫 書記大月雅之、狩浦圭介 事務局坂井孝行、河島ます子、野上和歌

２．理事会議題と決定事項

（１）審議事項

１）長崎市障害支援区分認定審査会委員選定の件について
公募をかけたところ現任の塩塚先生、井手先生がエントリー。次年度から定員３名となり１名不足。現任の２名に加え、以前委員だった池田理事を推薦する。審議の結果、提案通り可決された。

２）時津町障害支援区分認定審査会委員選定の件について
公募をかけたところ定員１名に対し２名のエントリーあり。現任の笹原理事を推薦する。審議の結果、提案通り可決された。

３）時津町介護認定審査会委員選定の件について
公募をかけたところ定員 2 名に対し 3 名のエントリーあり。現任の尾崎先生、濱本先生を推薦する。審議の結果、提案通り可決された。

４）長与町障害支援区分認定審査会委員選定の件について
公募をかけたところ現任の上野先生からエントリーあったが、その後健康上の理由で辞退したいとのこと。1 名の推薦が必要。本人の了解が得られれば時津町障害支援区分にエントリーされた田添先生を長与町で推薦する。了解が得られなければ笹原理事が長与町にスライドすることも検討。審議の結果、提案通り可決された。

５）長与町介護認定審査会委員選定の件について
公募をかけたがエントリー0 名で３名欠員。現任のうち組織役員の岡先生、川村先生に確認したところ手違いでエントリーしていなかったとのこと。現任の 2 名に加え、時津町の介護認定審査会にエントリーされた川上先生を本人確認の上長与町の委員として推薦する。審議の結果、提案通り可決された。

６）諫早市障害支援区分認定審査会委員選定の件について
公募をかけたところ定員 1 名に対し現任の秀嶋先生よりエントリーあり。秀嶋先生を推薦する。審議の結果、提案通り可決された。

７）大村市介護認定審査会委員選定の件について
公募をかけたところ定員 3 名に対し 2 名の応募あり。現任の大場先生と新規の高木先生。現任の西宮先生、佐藤先生からはエントリーなかったが、地区部長の山下先生から西宮先生は勘違いでエントリーしておらず、地区部長推薦で西宮先生をお願いしたいとの連絡あり。高木先生、大場先生、西宮先生の３名を推薦。審議の結果、提案通り可決された。

８）生涯学習制度の手引き（NPTA 版）発刊に関して
第 7 回理事会に提出後、修正、確認を行い再提出。見積は 50 部から 70 部に増加したもの。審議の結果、提案通り可決された。

９）「長崎理学療法」電子化およびWeb 公開について
学術誌の電子化ということで柿田班長が案をまとめたもの。理学療法学も電子化しているのでそれに倣う形。閲覧の機会も増えるため過去分も含め電子化を検討。1. 全員が閲覧できるようにするのか、2. 誌面を発行するか否か、3. ホームページ内にサイト作成するかどうか。以上について審議。1について、オープンで公開、2 について、部数は未定だが、誌面にも残す、3 について、ホームページ内に学術誌サイトを作成する方向で進める。審議の結果、提案通り可決された。

１０）「令和４年度神経心理学的検査研修会（第２回）」のセミナー登録について
士会指定事業に認定されている研修会で、1 回目の研修会を 12 月 15 日に開催。2 回目が 2 月 4 日の予定。1 回目は 7 名の先生が履修登録されている。介護予防推進リーダーの指定事業としてセミナー登録を。審議の結果、提案通り可決された。

１１）新入会承認について
総会員数 2,250 名、在会者 2,011 名、休会 239 名。入会 2 名、休会申請者が 56 名いるが、在会からの休会申請が 9 名で、残りは休会の継続。退会者 7 名のうち休会からの退会が 2 名、在会からの退会が 5 名。復会 4 名。審議の結果、提案通り可決された。

（２）報告事項

１）令和５年度 事業予算の件について

現時点で収入予測 25,752,510 円、支出予測が 27,425,980 で約 170 万円のマイナス。繰り越しは勘案せず。昨年度はこの時点で 300 万円のマイナス。学術大会の予算が今まで約 200 万円のところ 300 万円。また事務員の勤務が 1 日 4 時間の週 3 日から週 5 日となり、事務局機能強化に伴い人件費が増額。1 月中を目処に修正し、2 月の理事会に再提出予定。

2）令和 5 年度 事業計画の件について
事業数は令和 4 年度の 131 から 118 に減少。新規事業として保健福祉部の心大血管及び呼吸器リハビリテーション実施施設の実態調査がある。新人教育研修会が e-ラーニングへ移行するため削除。事業計画の最終承認は 3 月予定。11 月以降に研修会等イベントが集中しやすいこともあり、地区の事業数や士会指定事業についても見直し含め議論していく。

3）令和 4 年度 第 2 回協会指定管理者研修会および職域別ネットワーク推進研修会について
12 月 17 日に開催。第一部は JPTA の佐々木先生の動画教材と大山会長の講義。第 2 部は秀嶋先生、本田先生の講義の後、グループワークを実施。参加者 20 名。参加者が少なく、土曜日の長時間の研修、管理者取得のプロセスの煩雑さ、運営の仕方などが課題。

4）大村東彼地区啓発活動について
12 月 17 日にコレモ大村にて開催。スタッフは 8 名で一般県民 110 名が参加。内容はリーフレットの配布とロコモテスト、個別相談を実施。予算 57,000 円で支出が 46,407 円。

5）令和 4 年度 第 3 回長崎地区研修会について
第 3 回の地区研修会について、みなとメディカルセンターの廣重先生を講師に、内容は脳卒中センターにおける急性期医療とリハビリテーションを予定。令和 5 年 3 月 4 日に開催予定。午前中に症例検討会の開催も検討。オンラインの予定。

6）令和 4 年度 地域包括ケアに資する地域リハ専門職認定研修会について
今年度から職能推進局の地域包括ケア部が窓口。令和 5 年 3 月 4 日、5 日の 2 日間を通して実施。昨年度は e-ラーニングだったが、今回はオンラインでの開催。早々に広報をかける。

7）災害時の安否確認調査および連絡網体制整備に向けてのアンケート調査経過報告について
前回理事会で報告したアンケートを実施。全施設に送り、回答率が悪かったので再度 FAX で促している。未回答施設も多く、長崎地区では承諾拒否施設が 22 ある。未回答施設がゼロになるよう呼びかけを継続。

（3）その他報告事項

1）定時総会について
令和 5 年度定時総会について、開催形式はハイブリッド、場所は広い宴会場があるホテルを検討。参加者は役員 40 名程度、時間は準備を含め 4 時間くらいを想定。金額は 4 時間で 8 万円から 9 万円程度の見込み。最終決定は感染状況を踏まえて進める。

2）新春の集いについて
春に統一地方選挙があり、長崎県理学療法士連盟は以前力を入れて応援していただいた下条先生を応援する。新春の集いに 2 名の参加依頼あり。塩塚先生と小泉副会長が参加予定。

3）COV-MAT について
医療機関、施設でクラスターが発生した際、患者や利用者が巻き込まれることで廃用、活動性の低下により機能・能力の低下が予測される。そこで県から PT、OT、ST に対する協力依頼について長崎 J-RAT に相談あり。長崎 J-RAT から各協会に協力依頼がある。J-RAT に加盟する 54 施設を中心に協力依頼をかける。PT、OT、ＳＴの各団体にもその旨お願いをしたところ。派遣に対してはリスク高く、施設長の了承が必要。調整後、各団体にお願いする形。

4）地域ケア会議の見学について
県士会の推薦要件の「地域ケア会議参加経験」について、意欲があっても職場の環境で参加できない人もいるため、地域ケア会議を複数回見学し、内容を理解することで要件クリアとすることも検討。